

あいのかぜ

VOL. **14**

2002・秋号



特集

家事労働を考える

“あいのかぜは”、男女共同参画社会の実現に向けて、市民一人ひとりが男女共同参画に関する正しい理解と認識を深めることを目的に、公募市民3人からなる編集委員によって企画・編集された情報交流紙です。

家事労働を 考える



皆さんは、家事労働について考えたことがありますか？

家事労働には、炊事、洗濯、掃除のほか、育児や介護など多くの仕事がありますが、いずれも家庭を支え、私たちが人間らしく快適に生活するために欠かせない重要な仕事です。男性であれ女性であれ、家庭がある限り家事労働は必要になります。

けれども、どんなに一生懸命やっても、その働きに対しての報酬はなく、家族からもあまり高く評価されることはありません。そのため、家事にやりがいを見出せなくなってしまっている人も多いのではないのでしょうか。

今回、「あいのかぜ」では、家事をめぐる様々な意見を通して、家事労働とは何かを改めて考えてみました。

単身赴任を経験して…

インタビューのお相手は、単身赴任を経験している3人の男性です。

3人とも『単身赴任前は、ほとんど家事には参画していなかった』そうで、単身赴任中も、それぞれ程度に差はあるものの、『家事は、身の周りの必要最低限のこをただ』ということです。このような生活をされた3人は「家事」をどのように受け止めていたのでしょうか？

「家事」に対する考え、家事への参画についてお話を伺いました。

くざわ かずひで
九澤 和英さん(34 歳)

妻と子ども3人の5人家族
平成11年から2年間、
東京で単身赴任を経験



しょうじま としひこ
生島 寿彦さん(49 歳)

妻と子ども2人の4人家族
平成6年から長崎に7年、
平成13年から富山に
単身赴任、現在に至る



やまだ つとむ
山田 勉さん(62 歳)

妻と子ども2人の4人家族
熊本、大阪で合計10年間、
単身赴任を経験



単身赴任を経験することで、家事に対する考え方に変化はありましたか？

生島さん 家事って大変だなと思いました。例えば、うちの妻は食事を終えたらすぐに片付けをするんですが、これは僕にとっては神業としか思えない。お腹一杯になったら、ちょっと横になって休みたくなるものなのに…。妻は「どうせ片付けなきゃいけないから、さっさと終わら

せて、後でゆっくりしたほうがいい」って言うんです。ゆっくりくつろいでいたら、後でツケが回ってくる…。家事をやってる人ってえらいですよ。単身赴任して、本当にそう思いました。

山田さん そうそう。母ちゃんはえらい(笑)そして強い。立派なもんです。いろいろと口を挟んでしまうこともあるけれど、心の中では「ありがとう」って感謝していますよ。面と向かっては言わないですけどね。

九澤さん 私も口には出さないけれど、妻はよくやっていると。妻は、私が単身赴任中にしていた以上の家事を、働きながらしていたわけですから、本当に大変だったろうなとつくづく思いました。外で働いているだけなら休日に気分転換ができますが、家事には休みがないでしょう？そういう意味でも大変ですよ。

その後、家事には参画してらっしゃいますか？

九澤さん 「参画している」と言うとおこがましいのですが、風呂掃除をしたり、早く帰宅した日は子どもを風呂に入れたりしています。うちでは、休日に県内の温泉巡りをするんですが、そのときは、必ず私が子ども3人とお風呂に入って、妻にはのんびりくつろいでもらっています。

山田さん 妻は今も勤めていますけど、私は今は時間がありますから、洗濯したり、掃除機をかけたたり、花に水をやったりしています。勿論、その他にもやることがあれば自主的にやりますけどね。

生島さん 僕は単身赴任を終えたら、以前よりも参画するだろうと思います...家事に対する意識が変わっていますからね。今もたまに家に帰ると、風呂が沸いたらお湯をかき混ぜるなど、いろんな事に気が回るようになってきました。家事をせせと妻のことを思いやれるようにもなりました。以前は、こんな意識はなかったですね。

「家事」について思うことを聞かせてください。

山田さん 家事は、家族の...温かい家族を作る非常に大切な媒体としての役割を持っているような気がします。

生島さん 僕にとって家事は...「今日の感謝と明日への幸せ」かな。はははは。

九澤さん 私は、家事が一番身近なものであり、なくなると困る生活の基礎だと思いますね。ですから、家事は代行業など他人任せにはできないと思っています。

山田さん 家事のすべてを代行業に任せたら、味もそっけないでしょうね。ただお金だけですからね。

九澤さん 経済社会って損得勘定で動いていますけど、家事労働は損得勘定ではないはず。代行業に任せてしまったら、いろんな弊害が出てくるのでは？単純に皿洗いの一部を任せるっていうくらいならいいのかもしれませんが、



24時間すべての家事に他人が入ってくるのは家庭ではない。家庭は成り立たないと思います。

生島さん 外で働くと、その報酬としてお金が入ってきますが、家事の場合は全くそれがありません。家事を給料に換算したら、いくらになるのかなあ。もっとも家事は、手を抜こうと思えばいくらでも手抜きできるし、手間をかけようと思ったらキリがない労働で...人によって個人差がありますから、値段はつけられないかもしれない。

山田さん 今の世の中は、すぐお金に換算しようとするでしょ？これは比較するからですよ。そもそも、外で働く労働と家事労働は、比較するようなものではないと思う。ただ大事なことは、やはり「家事っていうのは大変なことだ」ということです。特に、世の中の旦那方は、これをきちっと正しく認識しておかなければいけないと思います。

家庭っていうのは、人間の感情や知恵...そういうものがあるから家庭なんだと思います。その家庭を支える重要な労働をしている方々は、「自分は稼いでないから、自分のものを買うのは気が引ける」とか「何も言えない」などと考えずに、それなりの要求をしてもいいんじゃないかな。旦那衆が、家事を一生懸命にこなしている妻方を思いやることを忘れてはならないと思う。

生島さん そういえば家計簿には「夫の小遣い」欄は見ますけど、「妻の小遣い」欄って見たことはないんですよ。そこに「妻の小遣い」というのがあってもいいんじゃないかなと思います。そうすると、その辺の問題も多少解決するような気がしませんか。

掃除や洗濯がスイッチひとつでそこそこ簡単にでき、コンビニや外食で、手軽に食事ができる世の中になっています。それでも、3人に共通していたのは「家事は、欠くことのできない大切な仕事」「決して楽な仕事ではない」「家事労働への感謝の気持ち」でした。インタビュー後、皆さんは「改めて感謝の気持ちを伝えよう」と話していました。

家事労働には、外で働く仕事と違って具体的な報酬はありません。それだけに、家族同士がお互いにねぎらいの言葉をかけあうなり、一緒に家事をするなり、言葉や行動に気持ちを表していきたいものですね。

家事について一言...

これまで、家事労働は女性が担うのが当然とされてきましたが、実際、女性たちは、どんな思いで毎日の家事をしているのでしょうか？

A.R.さん

(30代 主婦 夫、子ども1人、夫の父の4人家族)

普段は、育児を含めて家事全般、私の仕事と思っています。ある日、ちょっとしたところを掃除したのに気付いた夫が「ありがとう」って言ってくれたのは嬉しかったですね。それと、「育児や家事をやってくれる人がいるからこそ、自分の稼ぎがあるんだ」と言われたときは、「あ、そうか」と思いました。そうやって成り立っている家庭もたくさんあると思いますが、社会でも家庭でも、もっとワークシェアリングが進んだらいいなと思います。

N.K.さん

(40代 主婦 夫、子ども3人、夫の両親の7人家族)

3世代同居で、食事のメニューや時間あわせには苦労していますが、「おいしかった」と言われると励みになりますね。両親を大切にしながら頑張っている私の姿を見て、子どもたちは思いやりのある子に育ってくれたと思います。

自分の時間を持つために、段取りよく家事を片付けて、朝の仕事は9時ごろ終わるようにしています。家事代行は料金も高いし、「家事は自分の仕事」と思っているの、特に頼みたいとは思いません。

こんなことを聞いてみました

- ・ 苦労しているのは？
- ・ 良かったと思ったことは？
- ・ 家族からの感謝や、ねぎらいは？
- ・ 代行サービスを利用したいと思ったことは？
- ・ 自分がいないとき、家事は誰がすると思う？

I.H.さん

(50代 主婦 夫、子ども1人、夫の母の4人家族)

食事の支度、掃除、洗濯等を私が、畑や庭の外仕事は夫の母がやっています。私が出かけるときは、段取りをしておいて後は娘がやります。家事代行は、普段気が付かない所を掃除してもらえ、息抜きができるなどの利点があるので、一度利用してみたいですね。

最近「家事なんて、毎日同じことの繰り返し...」と空しくなることがあります。でも、夫の「大変だね」という言葉に、ちょっと気持ちが救われました。もっと早くにそう言ってほしかったと思います。どんなに些細なことでも、お互いに手伝ったり、ねぎらいの言葉をかけたりすることは、とても大切だと思います。

家事代行サービスのお値段は？

掃除関係

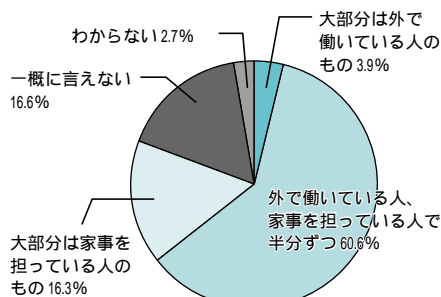
- ・ 窓ガラス&サッシ 800円～
- ・ 網戸 800円～
- ・ 換気扇 5,000円～ (フードタイプ 8,000円～)
- ・ 冷蔵庫(3～4ドア) 8,000円
- ・ 浴室 7,000円
- ・ トイレ 7,000円

炊事関係

- ・ 週2回4時間コース / 1時間あたり 2,300円
(メニューづくり、買い物、調理、後片づけなど)
- (各社HPから抜粋)

外から得られた収入に対する意識 ～その収入は誰のもの？～

夫婦の一方が外で働き、他方が育児・介護などの家事を担っている世帯に「外で得られた収入についてどう考えるか」を尋ねました。



総理府(当時)男女共同参画社会に関する世論調査(11/22月)

H.M.さん

(30代 主婦 夫、子ども1人の3人家族)

専業主婦は「暇な人」のように思われがちだけど、外で働く方がよっぽど楽なんじゃないかと感じることもあります。また「外で働いているの方がえらい」という風潮はどうかと思います。すべての労働が評価されるべきではないでしょうか？

家事に対して賃金を欲しいわけではないけれど、せめて、ちょっとした感謝の言葉くらいはあってほしいですね。そうでないと「やらされている」と感じてしまいます。家事が楽しいか苦痛かは、家族からの感謝の有無が大きく左右するのでは？

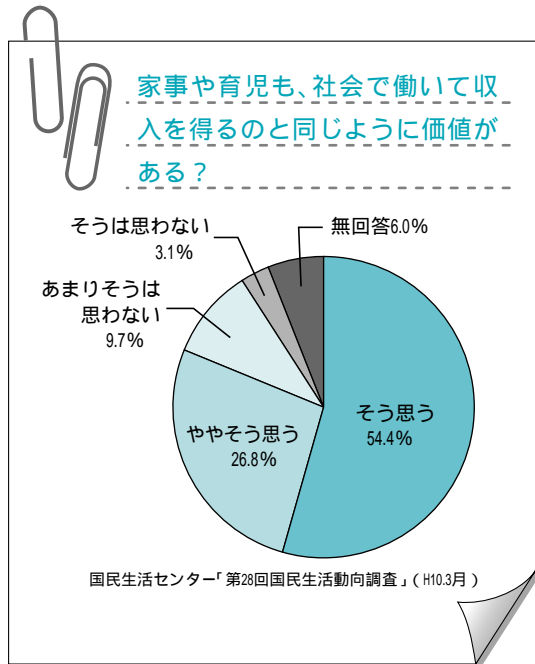
いつか男性が家事をしてもおかしくない社会になってほしいです。

H.C.さん

(60代 会社員 夫、子ども1人、夫の母の4人家族)

以前は夫の母と家事を分担していましたが、今は、働きながら家事のすべてを一人でやっています。家族にとっても自分にとっても、それが当たり前になってしまっていて、家族は手伝おうとしないし、私も期待していません。

家事は、限られた時間の中で効率よく...と思っても、帰宅時間が皆バラバラなので、誰かが帰ってくるたびに、料理を温めたり盛りつけたりと、いつまでも台所に立っていないとかならないのが悩みです。

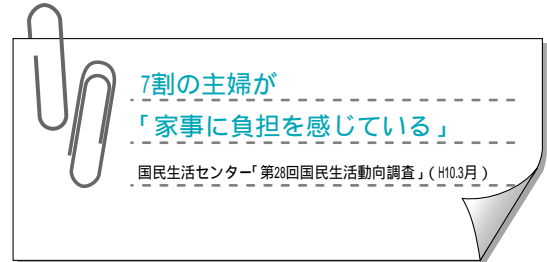


T.K.さん

(40代 自営業 夫、子ども3人、夫の両親の7人家族)

1日の時間の大部分を仕事にとられ、家事にかかる時間はあまり多くありません。食事をしっかり作ってあげられない、子どもの面倒を見てあげられない、子どもとゆっくり向き合えないなどと悩んだり苦労したりしましたが、子どもの成長とともに、家事と仕事のバランスがうまく取れるようになりました。

家事には、仕事のように具体的な経済的評価はありませんが、子どもたちからの感謝が私の支えとなっています。



Y.S.さん

(30代 会社員 夫、子ども1人の3人家族)

夫の家事、育児への参画度は低い方も...。子どもの遊び相手にはなっても、その他のことは一つひとつ「あれやって、これやって」と言わないと、動かないところがあります。

子どもは、保育所でクッキングタイムがあるので、家でも大根を切ったりじゃがいもの皮むきをしたりするんですよ。そんな子どもの姿を見て、夫も一念発起すればいいんですけど。いずれは3人で家事を分担していけたらいいなと思っています。

S.S.さん

(30代 主婦 夫、子ども1人の3人家族)

家事は主に私がしていますが、夫は料理が得意ということもあって、休日には食事を作るなど、かなり協力的です。それに、「おいしいね」「ありがとう」という言葉もかけてくれるので、嬉しいです。まあ、本当は夫が気付かないところで、もっと苦労しているんですけどね(笑)。

「いかにお金をかけずに、要領よく家事をするか」と考えてばかりなので、他のことにも脳みそを使いたい。そうすれば、もっとゆとりが出てくるんじゃないかな。

M.T.さん

(30代 会社員 夫、子ども1人、夫の両親の5人家族)

子どもと過ごす時間と仕事との兼ね合いが大変です。食事を「おいしい」と言ってくれたり、子どもがお弁当を残さず食べてくれたりすると嬉しいですよ。

夫と子どものことは、当然ながら私がやっています。私が倒れたりしたら？うーん、夫がなんとかかすると思うけど、どうなるのかは想像できませんね...

社会を構成する“人”を創り上げるのは“家庭”です。その“家庭”は、収入を得るための職業労働と、様々な家事労働で支えられています。家事労働の大切さは見過ごされがちです。

毎日の快適な生活は、家事労働の積み重ねがあって初めて成り立っているのです。これら日々の家事労働の多くは、女性が担っているのが現状です。しかし、職業労働とともに家庭を、社会を支える家事労働は、女性だけでなく、家族や社会を構成するみんなで協力して行うものではないでしょうか？

もう一度、家事労働を考えてみませんか？



ワークシェアリング (Work Sharing)

雇用の維持・創出を図ることを目的に労働時間の短縮を行うものであり、雇用・賃金・労働時間の適切な配分を目指して、より多くの労働者間で「仕事を分かち合う」ことを意味する。

ワークシェアリングの活用が進めば、国民の価値観の多様化や、仕事と家庭・余暇の両立などのニーズに対応し、働き方やライフスタイルを見直す事ができると考えられている。

アンペイドワーク (Unpaid Work)

無償労働、すなわち家事・育児・介護や地域社会におけるボランティア活動のように、賃金や報酬が支払われない働き方や活動をいう。人や生命の根幹に関わる活動であるのに、賃金労働 (有償労働) のように経済的評価はない。

このような無償労働に対する社会的評価をさらに高めるとともに、男女が有償労働と無償労働をバランスよく担っていくことが、男女それぞれの自立や自己の実現の可能性を広げることになる。

おいしいを言わせるごつい指の傷

小杉 輝子

男女共同参画に関する川柳入選作品 (敬称略)

素敵に人生、女と男 男女共同参画学習推進フォーラム2002 in とやま

平成14年6月30日(日) 主催 国立女性教育会館 富山市 富山市教育委員会

「素敵に人生、女と男」をテーマに、午前の部「趣味人会議」ではパネルディスカッション、男女共同参画に関する川柳入選作品の発表やアトラクションをはさんで、午後の部「フォーラム」では、基調講演、シンポジウムを行い、多くの皆様にご参加いただきました。

趣味人会議 (パネルディスカッション)



女と男で支え合う家庭や地域・職場



互いの趣味・活動を認め合い、心輝く男女共同参画社会

基調講演 「君について行こう」

慶應義塾大学助教授 向井万起男氏

「人間関係を築くには、コミュニケーションを取る努力が必要。夫婦はしゃべらなくてはいけないと思って、私は一生懸命努力しているんです。」と、宇宙飛行士として世界中を飛び回っている妻の千秋さんに、毎日3回メールを打っていることを紹介し、夫婦のあり方をユーモアたっぷりに語る。



シンポジウム 「家庭や地域、職場での男女共同参画をどのように進めるか」



コーディネーター
奥田 實氏 (富山県立大学教授)
パネリスト
岡野 絹枝氏 (金城大学短期大学部助教授)
中尾 哲雄氏 ((株)インテック代表取締役社長)
永田 円了氏 (富山国際大学教授)
森 雅志 (富山市長)
具体的な男女共同参画の進め方について、活発な意見交換を行う。

自分らしく生きる夫婦の車間距離
高畑 百合子

「楽しいぞ」連呼してからする掃除
江尻 和久

あきらめずほめて持ち上げ明日こそ
中谷 朝子

おれやるよママはゆっくりテイタイム
吉浦 縞子

富山市女性交流センターからのお知らせ

1 講座のお知らせ

テーマ・内容	日時	募集人数等
男女共同参画講座～ステキに人生、運河のほとりで～ 様々なライフスタイルを知り、自分らしい人生のあり方を考える	9/20、27、10/4、10/11 19:00～20:30 10/12 15:00～	市内在住か在勤の男女30人
女性のための起業支援セミナー 事業経営や『起業』を目指す人のための、起業にいたる基礎知識や心構えなどの起業入門講座	11/7、17、21、28、12/5 18:30～20:30 (11/17のみ10:00～15:00)	起業を志している女性40人
自分探しの旅に出よう!! 今の自分に気づくための自己尊重トレーニング	10/25、11/1、8、15、22 10:00～12:00	市内在住か在勤の女性20人
知って納得、身近な健康法 『つぼ』や『葉草』など身体に良い事を学び、実践	10/26、11/5、14 13:30～15:30 (11/14のみ11:30～13:00)	市内在住か在勤の男女30人
男だって料理講座 男性にも積極的に家庭生活に携わってもらうための、男性を対象とした料理講座	12月～3月	未定
世界の料理講座 各国の料理を学び作りながら、楽しく国際交流	12月～3月	未定

2 法律相談・女性のための悩み相談・グループ相談のお知らせ(無料・要予約)

	法律相談	女性のための悩み相談	グループ相談
相談員	弁護士	認定カウンセラー 臨床心理士	テーマ (内容)
日程・時間	第1・第3火曜日 いずれも13:30～15:30	第1土曜日 14:00～16:00 第3水曜日 10:00～12:00	ここは安心して話せる場所です
予約受付	Tel.433-1760 (開催日の3日前までにご予約ください)		未定 (決まり次第、広報等でお知らせします)
			募集人数

明日に向けて、今を生きる

男女共同参画とやま市民フェスティバル～^{ひと}女と^{ひと}男のつどい2002～を開催!

平成14年11月24日(日) 10:00～ 県民共生センター サンフォルテ

- ワークショップ、団体活動発表、作品展示など
- ドリンクコーナー、お抹茶コーナーなど
- オープニング(よさこい)など
- 男女共同参画社会づくり作文コンクール 表彰式
- 講演会「男女共同参画社会と女性の人権」 弁護士 中島 通子氏

プロフィール

日産自動車の男女差別定年制、日ソ図書の男女差別賃金、帝国臓器の男性の養育権を奪う単身赴任などの裁判を担当。男女雇用機会均等法改正やILO家族的責任条約批准運動に取り組む。

現在は、パートや派遣で働く女性と正社員との均等待遇を実現する運動にも取り組む。



* 応募方法や日程、詳しい内容については、それぞれ「広報とやま」等に掲載します。

* ホームページからも、情報をご覧いただけます。(<http://www.city.toyama.toyama.jp/institution/koryu-center/>)

このページの情報についての問い合わせは...

富山市女性交流センター 〒930-0805 富山市湊入船町6-7

Tel.076-433-1760 Fax.076-433-1761 E-Mail.jyoseikouryu-01@city.toyama.toyama.jp

あなたのまちの地域リーダー

富山市では、地域での男女共同参画の推進を目指して、地域から推薦された方々に「富山市男女共同参画推進地域リーダー」を委嘱しました。（1地区2人で計98人）

北部ブロックの講座
 10/26(土) 14:00~15:30
 浜黒崎公民館
 11/ 5(火) 19:30~21:00
 草島公民館
 11/30(土) 13:30~15:30
 布目東町公民館

西部ブロックの講座
 10/ 3(木) 19:30~21:00
 長岡公民館

東部ブロックの講座
 10/11(金) 19:30~21:00
 山室中部公民館

南部ブロックの講座
 12/ 1(日) 10:00~12:00
 蛸川公民館

この他にも、地域リーダーによる研修会、座談会、講座が開催される予定です。
 多くの皆様の参加をお待ちしております。

編集後記

私はどちらかというと“家事好き”なのですが、それでも「家事って面倒！」って思うことはしょっちゅうです。そんな私の気持ちを夫はわかってくれているかなあ？はたまた、私のする家事労働に、どこまで気付いてくれていて、どこまでちゃんと評価してくれているのかなあ？...この「あいのかぜ」は、是非、夫にじっくり読ませたい!!

高沢 美和

女性の声を集めてみて、「料理をおいしいってしてくれるのが一番嬉しい」ということが共通していました。皆さん料理が一番悩みの種で、一番気を遣っているところなのでしょうね。でも誰からも何も言われない...。お願い！おいしいなら「おいしい」って言って！まずいなら「まずい」でも構わないから！番外編として、「家事をする上での悩みは？」「勤めているから、平日の天気の良い日に布団が干せないこと」確かに...

中村 里恵子

家事は直接他人や他の仕事とつながりの無い地味な労働です。元気に生きている間は手を止めることが出来ません。そして一所懸命やっても、また反対にさばっても、それなりにストレスがたまります。そんな家事労働とどう付きあっているのか。今回改めて考えてみました。「自分なりの心地よさが持てたらよい」という合理的な気持ちを持っていかうと考えました。

西谷 明美

タイトルの“あいのかぜ”は、「私 英語で I の風」、「あいの風(富山弁で北東からの涼しい風)」、「愛の風」を表しています。

Cover 「We are 栗！」 ヒロコさんの作品
 自分たちの季節がやってきて、目一杯喜び楽しむ栗たち。
 自分なりの楽しみ方を発見すると、毎日の生活が一層楽しくなります！

編集・発行 富山市役所市民生活部青年女性課
 〒930 8510 富山市新桜町7 38 Tel. 076 443 2051
 Fax. 076 443 2176

“あいのかぜ”へのご意見・ご感想をお待ちしております。
 [宛先] 〒930 8510 富山市青年女性課(住所記載不要)
 [アドレス] seinenjyousei-01@city.toyama.toyama.jp